

令和4年9月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会 資料本体

日時： 令和4年9月3日（土）15：00～18：00

場所： ハービス PLAZA 5階（8,9,10号）会議室

大阪市北区梅田 2-5-25 TEL06-6343-7350

令和4年6月 OCOA 理事会議事録の承認

中野理事

資料1

[協議事項]

1、研修会実施予定

堀口副会長

第354回大阪臨床整形外科医会研修会（令和4年9月17日 ハイブリッド開催

現地会場：TKP ガーデンシティ東梅田 40名）共催 第一三共 16:00～

講演Ⅰ：「骨卒中予防の現状と課題 ～2次骨折予防の重要性～」座長：清水 広太 先生

演者：鳥取大学医学部 保健学科 教授 萩野 浩（はぎの ひろし）先生

N4（代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）、7（脊椎・脊髄疾患）、SS（脊椎脊髄病医）

日医 11（予防と保健）、77（骨粗鬆症）

講演Ⅱ：「神経障害性疼痛と腰椎椎間板ヘルニア診療ガイドライン2021」

座長：越宗 勝 先生

演者：大阪公立大学大学院医学研究科 総合医学教育学・整形外科学 准教授 豊田 宏光

（とよだ ひろみつ）先生

N1（整形外科基礎科学）、7（脊椎・脊髄疾患）、SS（脊椎脊髄病医）

日医 60（腰痛）、63（四肢のしびれ）

日本リウマチ学会 2単位（講演Ⅰ、Ⅱ 各々1単位）

日本リウマチ財団 2単位（講演Ⅰ、Ⅱ 各々1単位）

日本骨粗鬆症学会 5単位（講演Ⅰ）

第355回大阪臨床整形外科医会研修会（令和4年10月22日 ハイブリッド開催

現地会場：ANA クラウンプラザホテル大阪 100名）共催 帝人ヘルスケア 16:00～

講演Ⅰ：「急性腰背部痛を呈する高齢者の脊椎疾患 ー増加する骨粗鬆症・骨転移を診るー」

座長：宮口 正継 先生

演者：社会医療法人 警和会 大阪警察病院 脊椎・脊髄センター 副部長 大島 和也  
(おおしま かずや) 先生

N4 (代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む)、5 (骨・軟部腫瘍)、SS (脊椎脊髄病医)

日医 59 (背部痛)、60 (腰痛)

講演Ⅱ：「手のしびれや麻痺を生じる末梢神経や神経根の障害」座長：村上 仁志 先生

演者：関西電力病院 整形外科 主任部長 太田 壮一 (おおた そういち) 先生

N 7 (脊椎・脊髄疾患)、8 (神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む)、SS (脊椎脊髄病医)

日医 15 (臨床問題解決のプロセス)、63 (四肢のしびれ)

日本リウマチ学会 2 単位 (講演Ⅰ、Ⅱ 各々1 単位) (講演Ⅰ、Ⅱ)：各々1 単位

日本リウマチ財団 2 単位 (講演Ⅰ、Ⅱ 各々1 単位) (講演Ⅰ、Ⅱ)：各々1 単位

日本骨粗鬆症学会 5 単位 (講演Ⅰ)

令和 4 年 10 月 23 日 (日) JCOA 理事会 (大阪)

### 第 356 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 4 年 11 月 12 日 ハイブリッド開催)

現地会場：TKP ガーデンシティ大阪梅田 50 名) 共催 久光製薬 16:00～

講演Ⅰ：「生物学的骨癒合促進剤が変える近未来の脊椎固定術 ー術後 1 ヶ月での骨癒合獲得・疼痛コントロールを目指して!-」座長：小林 正之 先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学 (整形外科) 准教授 海渡 貴司 (かいと たかし) 先生

N 1 (整形外科基礎科学)、7 (脊椎・脊髄疾患)、SS (脊椎脊髄病医)

日医 15 (臨床問題解決のプロセス)、60 (腰痛)

講演Ⅱ：「Two-incision THA の文化人類学的ミカタと AI の整形外科領域応用」座長：中塚 映政 先生

演者：和歌山県立医科大学整形外科学講座 講師 西山 大介 (にしやま だいすけ) 先生

N 6 (リウマチ性疾患、感染症)、11 (骨盤・股関節疾患)、R (リウマチ医)

日医 15 (臨床問題解決のプロセス)、61 (関節痛)

日本リウマチ学会 2 単位 (講演 I、II 各々1 単位)

日本骨粗鬆症学会 5 単位 (講演 I)

令和 4 年度大阪臨床整形外科医会スポーツ研修会 (令和 5 年 1 月 21 日 WEB 開催)

配信場所：しんとう整形外科・リウマチクリニック) OCOA 単独開始 16:00～

独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 大阪病院

北 圭介先生 (スポーツ整形外科担当部長、膝)

轉法輪 光先生 (外傷外科担当部長、手・肘)

西本 竜史先生 (整形外科医長、肩)

第 357 回大阪臨床整形外科医会研修会

(令和 5 年 2 月 18 日 ハイブリッド開催 現地会場：大阪公立大学 名)

共催 科研製薬 16:00～

令和 5 年 2 月 18 日 (土) 第 357 回研修会：科研製薬

講演 I：「肩関節疾患の診断と治療」座長： 先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学 (整形外科) 佐原 亘 (さはらわたる) 先生

講演 II：「」座長： 先生

演者：大阪医科薬科大学 整形外科学教室 准講師 岡本 純典 (おかもと よしのり) 先生

大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 5 年 3 月 11 日 ハイブリッド開催 現地会場： 名)

共催 田辺三菱製薬 16:00～

講演 I：「」座長： 先生

演者： 先生

講演 II：「」座長： 先生

演者： 先生

大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 5 年 3 月 25 日 WEB 開催 配信場所：しんとう整形外

科・リウマチクリニック) OCOA 単独開始 16:00～

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院

股関節

脊椎+α

第 358 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 5 年 4 月 15 日 ハイブリッド開催

現地会場：ANA クラウンプラザホテル大阪 名）共催 大正製薬 16:00～

第 359 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 5 年 5 月 20 日 ハイブリッド開催

現地会場：エーザイ（株）大阪オフィス 梅田スカイビルタワーイースト 33F 名）

共催 エーザイ 16:00～

大阪臨床整形外科医会研修会（令和 5 年 6 月 17 日 WEB 開催 配信場所： ）

OCOA 単独開始 16:00～

演者：大阪公立大学大学院医学研究科整形外科 or 関連病院から 2 名～3 名

大阪臨床整形外科医会研修会（令和 5 年 7 月 1 日 ハイブリッド開催

現地会場：石原ビル 名）共催 ツムラ 16:00～

## 2、会員動態

白木副会長

前回理事会 令和 4 年 4/16（正会員 488 名）以降 新入会 2 名

久保 卓也 先生 令和 4 年 5 月 14 日 入会 正会員 大淀

河合 秀幸 先生 令和 4 年 6 月 18 日 入会 正会員 旭区

前回理事会 令和 4 年 4/16 以降 退会 2 名（内正会員 2 名特別会員 0 名）

（上野憲司 理事 令和 4 年 4 月 12 日付けで閉院、退会）

武田 十四也 先生 令和 4 年 5 月 20 日 退会 正会員 松原

松原 秀男 先生 令和 4 年 7 月 15 日 御逝去 退会正会員 東大阪市

令和 4 年 8 月 20 日現在

正会員 488 名

特別会員 7 名（うち 3 名が JCOA 名誉会員）

488+7 の 495 名が最新名簿上の通しナンバーの最終番号

顧問（現役教授） 7 名（菅本一臣教授留任 令和 4 年 3 月 31 日定年退官）

特別顧問 1名 茂松 日医副会長(正会員)  
名誉会員(元教授等) 9名 (菅本先生の正式決定は次年度総会の協議後に決定)  
合計 512名 (JCOA 名誉会員が計5名)

JCOA 正会員は OCOA 正会員 489名 + OCOA 特別会員 7名  
496名 から JCOA 名誉会員 5名 を除いた  
491名

3、新入会の申し込みについて 白木副会長

資料2

4、総務のZoom契約の今後について 白木副会長

5、新ホームページのバナー広告料金に関して 明石理事 神藤理事

ホームページリニューアルWGより

6、大阪府原爆被爆者健康管理手当等認定委員の委嘱に関して  
神藤理事

資料3、4、5、6、7

7、大阪城トライアスロン出務医師派遣について 荻野理事

ワールドトライアスロン大会に昇格して2022年5月7日土曜日 5月8日日曜日開催日予定でしたが延期。大阪城トライアスロン2022は10月9日(日)エイジ競技のみの大会として開催されます(海外エリート選手は不参加)。開催場所は例年通り大阪城公園及び周辺特設コース(大阪府中央区)スイム会場(大阪城東外濠特設コース)で行われます。出走予定者は約800名です。

後援

スポーツ庁／文化庁／観光庁／大阪府／大阪府教育委員会／大阪市教育委員会／（公財）大阪観光局／大阪城パークマネジメント株式会社／大阪商工会議所／（一社）大阪青年会議所／（公財）関西・大阪 21 世紀協会／（一社）関西経済同友会／（公社）関西経済連合会／（公財）大阪府スポーツ協会／（一社）日本スポーツツーリズム推進機構／（公財）ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会（一社）大阪ビジネスパーク協議会／（一社）大阪府医師会／大阪ライフセービングクラブ／大阪バイオメディカル専門学校／JTU 近畿ブロック協議会／近畿学生トライアスロン連合

この度の救護所出務者（バイク救護所）は 水沢整形外科 水沢慶一先生（豊中市）にお願いしております。

大阪マラソン 2023 令和 5 年 2 月 26 日日曜日開催。府医師会より出務依頼は例年通り 50 名になる予定です。また救護所出務後の 救護所報告会はホテルニューオオタニ大阪で開催します。感染状況に応じてブッフエスタイル或いは着座スタイルとします。

## 8、その他

藤本会長

### [報告事項]

#### 1、令和 4 年度第 1 回 JCOADiT ブロック実務委員会（北海道・東北）

6/2・WEB 神藤理事

日 時：令和 4 年 6 月 2 日（木）20：00～21：30

場 所：ウェブ会議

出席者：副理事長 五味渕聡志

北海道 八木知徳、大山直樹（理事）、糸賀英也、江端 済

岩手県 成島勝之助、

宮城県 金淵隆人（理事）、瀬野幸治

秋田県 森田裕己、鬼川 温

山形県 渋谷真一郎

福島県 岩田仁男

新潟県 金藤直樹

福岡県 大橋輝明

災害医療チーム検討委員会

担当理事 河村英徳、久賀養一郎、村井 聡  
委 員 八木知徳、瀬野幸治、神藤佳孝、濱邊卓也  
アドバイザー 加藤裕之

1. 挨拶

五味淵聡志副理事長から挨拶があった。

2. JCOADiT ブロック実務委員会の趣旨について

河村英徳理事は、本実務委員会の趣旨を説明した。

3. 自己紹介

各出席者は、自己紹介を行った。

4. 報告事項

(1) 北海道・東北ブロックでの災害被害報告について

会員の被害等について、次のとおり報告された。

① 令和 03 年 02 月 福島県沖を震源とする地震

(実務連絡担当者：いわた整形外科 岩田仁男会員)

- ・ 桜ヶ丘さいとう整形外科 斉藤 昭会員  
係累牽引治療器 1 台、カルテ棚 2 台破損、壁にひびが入った。
- ・ 渡辺栄一整形外科 渡辺栄一会員  
レセコンのモニター破損
- ・ 八巻クリニック 八巻一浩会員  
X線発生装置破損、漏水、カルテ棚、薬品個破損
- ・ いのまた整形外科 猪股洋一郎会員  
モニター破損
- ・ さとう日出夫整形外科 佐藤日出夫会員  
レントゲンのモニター破損
- ・ 菊地整形外科 菊地秀明会員  
外壁の亀裂
- ・ 小池整形外科・外科内科胃腸科 小池承彦会員  
診察用 PC 落下使用不能、診療所の床、壁一部破損

② 令和 03 年 03 月 宮城県沖を震源とする地震

八戸は震度 3。長くてかなり揺れた。当院の被害はなさそうです  
本田整形外科クリニック 本田 忠会員

③ 令和 03 年 09 月 16 日 石川県能登を震源とする地震

被害報告なし。

④ 令和 03 年 10 月 6 日 岩手県沖を震源とする地震

被害報告なし。

⑤ 令和 04 年 03 月 16 日 福島県沖を震源とする地震

(実務連絡担当者：いわた整形外科 岩田仁男会員)

- ・ 医療法人あまら あまら整形外科理事長 佐藤直人会員  
令和 4 年 3 月 16 日の地震で、当院の外壁の一部にひびが入ってしまいました。内装は診察室の壁に穴が開いたり、かなりの箇所のひび割れが生じました。昨年 2 月の地震で痛んだ箇所を治したばかりで残念です。医療機器などは無事でした。
- ・ 桜ヶ丘さいとう整形外科 齋藤 昭会員  
レントゲン室のコンデンサー転倒：透視の基盤破損のため修理必要  
カルテ棚転倒しゆがみあり：買い替え必要  
数か所の窓枠のゆがみあり  
エアコンの故障 1 台  
処方箋用プリンター 1 台破損：修理中  
(自宅：水道管の破損 2 か所、排水管の破損 1 か所、タンス破損 1 台廃棄、テレビ破損 1 台廃棄、屋根の瓦が一部破損)
- ・ さとう日出夫整形外科 佐藤日出夫会員  
カルテ棚が倒れ、屋上の配管パイプが壊れた。

⑥ 令和 04 年 03 月 18 日 岩手県沖を震源とする地震

(実務連絡担当者：成島整形外科医院 成島勝之助会員)

- ・ 一関すずき整形外科クリニック 鈴木道博会員  
当院は、外壁・内壁のひび割れ(何十か所)、2 階部分の水漏れ、外来と 2 階トイレ扉のゆがみで開かない状態、ope 室の滅菌手洗い場の洗面台が倒れた、ope 室の汚水用貯水タンクの陶器にひび、事務室の PC の液晶画面落下により液晶にひび等で、後片付けと診療を並行して行いました。現在、通常診療を行っております。

(2) 北海道・東北ブロック災害対策委員会の活動報告

北海道の八木知徳委員は、北海道臨床整形外科医会で制作した JCOADiT の小冊子について紹介した。

(3) 令和 3 年度第 2 回災害医療チーム検討委員会報告(資料 1)

濱邊卓也委員は、資料に基づき報告した。

## 5. 協議事項

(1) 北海道・東北ブロック実務連絡担当者の相互交流方法に関して

研修会や勉強会などへの相互招待、2 つの地区間の会議について、Zoom ミーティングを使用する等の意見があった。

(2) 北海道・東北ブロックの実務連絡担当の責任者に関して

- ① 北海道地区は大山直樹理事、東北地区は岩田仁男会員に決定した。
- ② 責任序列については、北海道は後日決定することとし、東北地区については、



1位を岩田仁男会員（福島県）、2位を森田裕己会員（秋田県）、3位を渋谷真一郎会員（山形県）と決定した。

(3) 事前打ち合わせのメンバーに関して

今後の本実務委員会開催に当たっての事前打ち合わせに関して、各ブロック責任者（司会進行）河村英徳理事、神藤佳孝委員、荒木邦公委員、他委員等とすることとした。

6. 話題提供

神藤佳孝委員は、阿倍野区防災フェアについて説明した。（資料2）

（資料1）

令和3年度第2回災害医療チーム検討委員会議事録

文責：委員 山下剛司  
委員長 神藤佳孝

日時：令和4年3月17日（水）20：00～22：00

場所：ウェブ会議

出席者：理事長 新井貞男

副理事長 松原三郎、五味渕聡志

担当理事 河村英徳、久賀養一郎、村井 聡

委員長 神藤佳孝

副委員長 荒木邦公

委員 八木知徳、山下剛司、加藤裕之、濱邊卓也、姫野信吉

欠席者：副理事長 奥村栄次郎、長谷川利雄

アドバイザー 田辺秀樹、藤野圭司

理事会審議付帯事項：

特になし。

委員会決議事項：

1. 令和4年度事業計画について

次の事業について確認を行い、詳細については本委員会メーリングリストで検討することとした。

(1) 災害医療チーム検討委員会の開催

対面形式での委員会を開催する場合は、本委員会の構成人数が多く、事務局での開催は難しいので、別会場を手配する必要があることが確認された。

ただし、対面での開催は、新型コロナウイルス感染症の状況によることとした。

(2) 第5回 JCOA 災害医療チーム研修会

令和5年2月頃にステーションコンファレンス東京で開催する予定であるが、各地での開催も検討することとした。

- (3) 第 35 回 JCOA 学術集会シンポジウム  
本委員会企画のシンポジウムを開催する予定である。
- (4) JCOADiT 全国実務担当者会議（総会）  
令和 5 年 2 月頃にウェブ形式で開催する予定である。
- (5) JCOADiT 各ブロック実務委員会  
年 6 回開催する予定である。

2. 令和 2・3 年度理事長諮問事項に対する答申について  
神藤佳孝委員長は、答申案を報告し、協議のうえ了承された。

3. 第 35 回 JCOA 学術集会（徳島）について

- (1) 本委員会企画のシンポジウムについて、次のとおり決定した。
  - ① シンポジウムのテーマ：「JCOADiT の活動を考える」
  - ② 開催日：令和 4 年 7 月 17 日予定
  - ③ 講演内容と登壇者
    - ・ 発災時の情報収集（山下剛司委員）
    - ・ 先遣隊の役割（姫野信吉委員）
    - ・ チーム編成と派遣の流れ（八木知徳委員）
    - ・ 現地の活動と JMAT との連携（荒木邦公副委員長）
    - ・ JCOA の本部との必要情報について（加藤裕之委員）
    - ・ チーム撤収と現地 COA との連携（濱邊卓也委員）
- (2) 抄録の締切日が、令和 4 年 3 月 31 日であることを確認した。  
抄録は、締切日までに仮登録して、その後校正することが可能であることを確認した。
- (3) 今後については、河村英徳理事と相談のうえ、進めることとした。
- (4) 進捗状況に関しては、本委員会メーリングリストで報告することとし、全体でディスカッションを重ねることとした。

4. 多発医療災害発生時の JCOA 災害医療チーム責任者について

- (1) 松原三郎副理事長は、指示系統が横一線であるのは好ましくないので、災害医療チームの責任の序列を決定するべきと提案し、次のとおり決定した。
  - ・ 第 1 位：河村英徳理事
  - ・ 第 2 位：神藤佳孝委員長
  - ・ 第 3 位：荒木邦公副委員長
  - ・ 第 4 位：濱邊卓也委員
- (2) 河村英徳理事は、次のとおり述べた。
  - ・ 責任の序列第 1 位であるのは構わないが、基本的には委員からの選出が好ましい。
  - ・ リスク管理の意味から、第 1 位から第 4 位の構成者の居住地が離れていることが理想となる。

5. 第 5 回 JCOA 災害医療チーム研修会の開催形式について

ウェブ形式、対面形式、両形式のハイブリッド型について検討し、今後の政府の対応も見極めて決定することとした。

## 6. JCOADiT 各ブロック実務委員会の日程について

- (1) 全国会議  
令和4年2月12日に開催した。
- (2) 北海道・東北ブロック（12名）  
令和4年5月に開催することとした。
- (3) 関東・中部ブロック（16名）  
令和4年8月に開催することとした。
- (4) 近畿・中国四国ブロック（15名）  
令和4年10月に開催することとした。
- (5) 九州ブロック（8名）  
令和4年12月に開催することとした。
- (6) 日程については、河村英徳理事、神藤佳孝委員長に一任された。
- (7) 河村英徳理事は、災害が発生した場合、臨時に開催することを加えてもよいのではないかと提案した。

## 7. JCOA 研修会、実務連絡担当者会議のオンデマンド配信に関して

- (1) 会員用メーリングリストの利用など配信範囲、肖像権等の個人情報に関連して、出演者の了解があれば問題無いと考えるが、他に映っている方の承諾も必要になるのか等について検討した。
- (2) 本委員会では、次のような意見があった。
  - ・ 事前にオンデマンドにて配信すればよかった。
  - ・ オンデマンド配信用に研修会の編集は可能である。
  - ・ 事前に許可を得ていないので、オンデマンドにするのは難しい。
  - ・ オンデマンド配信の期間も設定する必要がある。
  - ・ 出演者だけでなく、映像に映っている各個人の許可を得る必要がある。
  - ・ メーリングリストで検討すべきである。
- (3) 本件は、今後も検討をすることとし、具体的な案をまとめ、理事会へ上程する方針とした。

## 8. JCOADiT の活動記録をまとめる小冊子の作成について

本委員会でまとめている資料を確認し、前回の委員会です承された小冊子作成は実施しないこととした。

## 9. 本委員会議事録の作成担当について

次の順番で、議事録を作成することとし、2巡目は主と副を入れ替えることとした。

- (1) 主：八木知徳委員      副：加藤裕之委員
- (2) 主：山下剛司委員      副：神藤佳孝委員長
- (3) 主：濱邊卓也委員      副：加藤裕之委員
- (4) 主：姫野信吉委員      副：荒木邦公副委員長

## 委員会報告事項：

1. 第4回 JCOA 災害医療チーム研修会について  
次のとおり、報告された。

- (1) ウェブ形式で開催した。
- (2) 220名の申込があり、約200名が視聴した。
- (3) 中学生防災士の出水真輝さんの講演評価が高かった。
- (4) 参加費無料で、日整会教育研修単位も取得できたことで参加者が多くなったと思われる。

2. 第1回 JCOADiT 全国実務担当者会議について

第1回目の会議をウェブ形式で開催し、お互いに顔の見える関係性を構築していくための一助となった。

3. 令和4年3月福島県沖を震源とする地震（令和4年3月16日発生）について

最大震度6強であった本地震について、本委員会構成者による情報交換が行われた。

(資料2)

**みんなで話そう! 防災のこと**

**2022 あべの 防災フェア**

**3/13 (日) 14:00~15:45 (13:30開場)**

**要申込 先着順 (100名)**

**親子で防災について考えよう!**  
あべの親子防災ノートを紹介  
あべの親子防災部

**三師会による防災講演会**

- エコノミー症候群の防止など  
避難所での心構え  
神藤 佳季氏
- 災害時の口腹ケア  
本田 浩二氏
- 災害時の業の備蓄  
日高 真理氏

**親子で防災について考えよう!**  
あべの親子防災ノートを紹介  
あべの親子防災部

**三師会による防災講演会**

- エコノミー症候群の防止など  
避難所での心構え  
神藤 佳季氏
- 災害時の口腹ケア  
本田 浩二氏
- 災害時の業の備蓄  
日高 真理氏

**災害への備えに役立つ情報や動画を 3/1~WEBで公開!!**

- ・大阪ガスの安全・安心の取組み
- ・日本赤十字社防災セミナーの紹介
- ・あべの親子防災部による  
ポリ袋クッキング動画
- ・あべのタスカル  
(防災センター)の紹介
- ・阿倍野消防署による  
心肺蘇生講習動画
- ・地域における防災への取組み紹介 他

QRコード: <こちらからご覧ください。>

日本赤十字社  
キッズスター  
「1」ルートラちゃん

レスキューバンド  
なすけくん  
©2016.04 DMFD  
なすけ

**中込券** 電話、FAXまたは問合せ先へ参加者の氏名、電話番号、メールアドレス、住所をお知らせください。  
**締切** 3/10(木)17:30(先着100名)

イベントなどは変更・中止になる可能性があります。詳しくはホームページやチラシをご覧ください。  
詳細の申込・キャンセルやお問い合わせは下記窓口へお問い合わせください。変更不応や状況のある場合はお電話ください。

阿倍野区役所市民協働課 (市民協働) ☎6822-9734 ☎6821-1412

資料 8

### 3、令和 4 年度第 1 回災害医療チーム検討委員会 7/14・WEB 神藤理事

資料 9

### 4、令和 4 年度第 2 回社会保険等検討委員会 7/31・東京 神藤理事

日 時：令和 4 年 7 月 31 日（日）11:00~15:00

場 所：ステーションコンファレンス東京 6 階「605B・C」

東京都千代田区丸の内 1-7-12

出席者：理事長 新井貞男

社会保険等検討委員会

副理事長 奥村栄次郎、松原三郎、五味洵聡志

担当理事 金淵隆人、寺門 淳（ウェブ）、大瀬戸政司

委員長 山田 明彦

副委員長 葛原 啓、岡田祐司（ウェブ）、

委 員 中村 尚（ウェブ）、子田純夫、丸山晴（ウェブ）、西能 健（ウェブ）、柴田正人、神藤佳孝、鬼木泰成（ウェブ）、橋口兼久（ウェブ）、

アドバイザー 浦門 操（ウェブ）、

外内保連 WG

担当理事 金淵隆人、寺門 淳（ウェブ）、大瀬戸政司

委員長 平泉 裕

副委員長 丸山晴久（ウェブ）

委 員 平澤直之（ウェブ）、長谷川和寿（ウェブ）、東 秀隆（ウェブ）、紺野 勉（ウェブ）

欠席者： 社会保険等検討委員会

アドバイザー 藤野圭司、

外内保連 WG

委員 村井邦彦、田辺秀樹、

アドバイザー 角南義文、三宅信昌

#### 1. 理事長挨拶

新井理事長は、コロナの蔓延で大変な状況であるが、厚労省内は平穏であること、また全審会でも取り上げられるテーマや新薬の取り扱いについて、しっかり議論してほしいと述べた。

## 2. 副理事長挨拶

奥村副理事長は、会員からの問い合わせが多く、本委員会での議論は勉強になると述べた。松原副理事長は、ジクトルテープの取り扱いが問題になると述べた。五味副理事長は、JCOA 保険審査員会議が対面で翌日の全審会がウェブのため、参加が困難になる審査員のため品川コンファレンスセンターに70名ウェブ参加可能スペースを設けたので利用してほしいと述べた。

## 3. 担当理事挨拶

金淵理事、大瀬戸理事、寺門理事より簡単な挨拶があった。

### 報告事項

#### 1. 2021 年度レセプト調査報告

金淵理事より、以下のようにレセプト調査報告があった。

参加施設は 201 施設であった。無床診では 2020 年レセプト枚数は増えも回復したが、延べ人数は減少傾向にあった。有床診ではレセプト枚数、延べ人数、診療報酬額は回復した。病院はいずれも回復した。自賠・労災については、無床診ではレセプト枚数、延べ人数、診療報酬ともに低下した。有床診では回復したが、2018 年レベルまでは戻っていなかった。病院ではレセプト枚数は上昇したが、延べ人数、診療報酬は 2020 年を下回った。入院解析結果においては、有床診は 2018 年以降レセプト枚数、延べ人数は減少し続けていた。病院はレセプト枚数、延べ人数、診療報酬ともに増加した。自賠・労災入院において、有床診は減少しているものの診療報酬は維持されていた。病院は 2021 年は回復した。

#### 2. 外保連報告

平泉外保連 WG 委員長より、以下のように報告した。

令和 4 年 5 月に各学会にアンケート依頼があった。外保連は手術、処置、検査、麻酔の部局がありここで試案を作成、最終的に実務委員会で改定要望書を作り厚労省に提出する。外保連試案には、学問的根拠が示され改定の際資料として利用される。今回は令和 5 年 3 月に要望書を提出する必要があり、短期間で用意をする必要がある。特に要望書のまとめを図入りで厚労省の技官がわかりやすいものを作成する必要がある。今回の改定では 733 件の要望書が出され 175 件に絞られた。四肢・骨格筋系統では 100.42% の改定率であったが、JCOA、運動器学会より要望した項目は不採用であった。エビデンスのある文献が必要であり学会で発表、論文化することが重要である。10 月には整形外科関連学会連絡会議が開かれ、ここで情報共有がなされる予定である。

#### 3. 内保連報告

丸山委員より、以下のように報告した。

診療領域別委員会委員の交代があった。令和 4 年度の技術提案は 441 件であった。令

和4年度改定不合理・矛盾点申請書の件、「説明と同意」委員会の件の、および三保連合同シンポジウムの件の説明があった。中央社会保険医療協議会総会が令和4年1月21日に開催された。令和6年度診療報酬改定スケジュールの説明があった。次期要望事項については令和5年1月に各委員に募集をかける予定である。

4. 令和4年度第35回JCOA学術集会（社会保険等検討委員会シンポジウム）の反省  
岡田副委員長（第35回学術集会会長）より、新井理事長はじめ参加の委員に対し感謝の弁が述べられた。  
子田委員、中村委員（シンポジウム座長）より進行に関しての反省点が指摘された。山田委員長、丸山WG副委員長、金淵理事、神藤委員、葛原副委員長（シンポジスト）より、発表に関しての反省が述べられた。

#### 検討事項

1. 令和6年度診療報酬改定の今後のスケジュールについて  
寺門理事より前回の反省点を踏まえて次期改定への要望項目アンケート作業手順について説明があった。11月15日が新設・改正・材料要望項目アンケートの締め切りとなっており、簡単な内容の記載が必要となる。検査は8月31日、麻酔は10月14日、手術・処置・内視鏡は11月15日が締め切りとなっている。それまでにJCOA学会、日本運動器学会よりそれぞれ新設5項目、改正8項目材料3項目を決定しなければならない。各委員会に要望項目提出の依頼と、記入用のフォーマットを送り、担当者指名と要望の概略は必ず記入してもらうこととする。なるべく8月までには各委員会で項目を決定し、9月25日の医業経営委員会において、JCOA、日本運動器学会からの要望項目を正式に決定する。加算や管理料については、外保連では採用されることが困難になっており、今後内保連経由での申請のほうが、有利と考えられる。また外保連試案2022の配布について説明があった。
2. 令和4年度JCOA保険審査委員会議について
  1. 主催一般社団法人日本臨床整形外科学会、外用製剤協議会
  2. 日時：令和4年9月10日（土）16時～19時30分
  3. 場所：品川プリンスホテル メインタワー  
東京都港区高輪4-10-30 TEL03-3440-1111
4. 会議及び研修講演会
  - (1) 保険審査員会議（16:00～18:20）

司会：社会保険等検討委員会担当理事	寺門 淳
ア、開会挨拶：理事長	新井貞男
イ、議題	
  - (1) 審査上検討を要する事案（注意を要する請求事例、再審査事例など）第1部  
座長 社会保険等検討委員会 委員 丸山晴久

司会 社会保険等検討委員会 委員 神藤佳孝

(2)審査上検討を要する事案（注意を要する請求事例、再審査事例など）第2部

座長 社会保険等検討委員会 副委員長 葛原 啓

司会 社会保険等検討委員会 委員長 山田明彦

(2)合同講演会(18:30~19:30)

司会：社会保険等検討委員会担当理事 金淵隆人

ア、挨拶：副理事長 松原三郎

外用製剤協議会会長 藤岡美佐子

イ、演題 「診療報酬改定の今後（仮題）」

講師 厚生労働省保険局医療課主査 松木田 瞭先生

座長 理事長 新井貞男

(3)閉会の辞：副理事長 五味淵聡志

（新井理事長より松木田先生の紹介があった。）

## 2. JCOA 保険審査員会議における設問の決定

神藤委員より、ジクトルテープについて解説があった。

(1) 第1部設問案について神藤委員より説明があり、12問を採用することとした。

(2) 第2部設問案について山田委員長より説明があり、16問を採用することとした。

(8月5日文面を正式決定し、IT戦略委員会にアンケート調査を依頼して、8月20日までに審査委員に回答してもらうこととした。)

## 10. 次期委員会の予定について

令和4年度第3回社会保険等検討委員会

日時：令和4年12月25日（日）11:00~15:00

## 5、新しいホームページの現状と問題点に関して 宮口理事 神藤理事

資料10

ホームページリニューアルWGより

## 6、第2回総務委員会

6/17・TV 邊見理事

日時：令和4年6月17日（金）20:30~21:30

場所：ウェブ会議

出席者：13名



## 理事会上程事項

1. 会報、JCOA ニュースの発行
2. 会員数増加に対する具体的な対策の検討
3. 団体定期保険制度加入率を上げるための検討
4. 整医協の入会率を上げるための検討と各県への広報
5. 「骨と関節の日」に各県臨床整形外科医会等が実施した活動の調査・記録と表彰
6. 50周年記念誌の企画及び編纂

## 審議事項

### 1. 委員長の選任

委員長は金藤 直樹委員、副委員長は廣瀬 大祐委員と邊見 俊一委員が選任された。

### 2. JCOA ニュース・会報について

#### 1) ニュース第 183 号の反省

- a) 西暦表記を元号表記に統一する。
- b) JCOA 災害医療チーム (JCOADiT) については、本文中では JCOADiT と記載する。

#### 2) 会報第 30 号 (第 35 回学術集会・徳島) について

- a) 現在までの原稿を確認した。
  - b) 令和 5 年 3 月に発行する予定とする。
- 3) 令和 4・5 年度ニュース・会報担当表を確認した。
  - 4) ニュース・会報の校正の留意点を確認した。また、内容を整理し新しい校正の留意点を委員に配布することとした。
  - 5) ニュース委員会報告のひな形について確認した。

### 3. 「骨と関節の日」について

- 1) 「骨と関節の日」のポスターは 7 月中には完成予定である。イラストレーターとパワーポイントで作成した 2 種類のポスターを作成した。ポスターの使用を希望する都道府県は事務局に依頼する。
- 2) 「骨と関節の日」活動記録原稿依頼は、ポスターの案内と一緒に各都道府県に連絡することとした。

#### 4. 新規入会者を増やす取り組みについて

大阪府の取り組みの紹介があり、大阪府で使用している「開業オンラインセミナー」のポスターを各県のリクルート委員に配布することとした。

#### 5. 50周年記念誌の企画及び編纂について

1) 令和5年JCOA学術集会（千葉）で50周年記念式典を開催する予定である。

2) 50周年記念誌は記念式典の開催後に発行する予定である。

3) 50周年記念誌の内容は未定であるが、40周年記念誌を参考に内容を決めることとした。

### 報告事項

#### 1. JCOA生命共済制度について

1) 令和4年3月1日からの生命共済加入者数は464名（加入率10.4%）である。脱退者は昨年同様37名

であり、内訳は任意脱退19名、75歳の年齢による自動脱退18名である。新規加入者数は昨年度の2名から今年度15名と増加している。

2) 現在の総保険金額は、昨年度109億円、今年度105億円と減少し問題となっている。100億円を下回ると保険料が引き上がってしまい、他の生命共済と比較した優位性が低下する。以前は問題点として加入率があったが、現在は制度上問題となっていない。

3) 募集期間の延長、チラシの改良と各県代表への配布・ウェブサイト「会員の部屋」への掲載、最大保険金額の増額など色々な方法をとってきたが加入者数、総保険金額とも2001年の1421名307億円をピークから徐々に減少している。

4) 今後5年間で75歳の年齢による自動脱退者が143名予定されており、重大な問題である。

## 7、リクルート委員会

邊見理事 片岡理事

### 整形外科開業オンラインセミナー

資料11

今後も入会者を増やすため、新規開業を予定している病院勤務医及び新規開業医に対し、本年度も『整形外科開業オンラインセミナー』を開催した。

・開催日時：令和4年7月2日及び30日 16:00～18:00

・講演名および講師

① 7/2 第1回整形外科開業オンラインセミナー

・セッション① 雇用の基礎～採用とトラブル防止について～

社労士しみずオフィス 清水 広明 氏

・セッション② ホームページの活用～新時代のメディカルプロモーション～

株式会社ヒーローイノベーション 上村 大輔 氏

・セッション③ 運動器リハビリテーションの導入と運用

大阪臨床整形外科医会 理事 吉村 弘治 先生

② 7/30 第2回整形外科開業オンラインセミナー

・セッション④ クリニック開業における物件選定について

大阪府医師協同組合 開業支援課 恵荘 正庸 氏

・セッション⑤ 医療法人化のメリット・デメリット

税理士事務所 ONE A・株式会社メディカルアシスト 高塚 皓理 氏

・セッション⑥ 査定されない外来診療～保険診療とは～

社会医療法人緑風会 緑風会病院 理事長 杉本 瑞生 先生

・会場：オンラインセミナー（株式会社メディカルアシストより配信）

・参加人数： 7/2：38名（内 OCOA 会員 30名）

7/30：29名（内 OCOA 会員 22名）

・参加費： 無料

・費用

項目	出務費	座長費	講師料	案内状作成・ZOOM使用料	合計
支出額	10000	8000	60000	25402	103402

《まとめ》

・参加者は、昨年度 18 人に対し本年度 38 人と大幅に増加した。OCO A 会員も一定数（38 人中 30 人）おられ、今後も開業後も役立つような講演を入れていきたい。

・新規開業予定者から、開業準備・診療に役立ったとの声を頂き、おおむね成功であったと思われた。一方、開業後の OCO A 入会に関しては、医師会入会が必須となっているため、開業後医師会に入会する金銭的な余裕が出来たら一緒に入会したいとの声があった（医師会入会金が高いため OCO A には入会したいが入れないなど）。

リクルート委員会からのお願い

研修会、新規開業セミナーの参加者や、2021年8月以降の近畿厚生局による新規開業資料を基に以下の項目を確認し、入会者リストを作成しています。

1. 整形外科がメインかどうか

標榜科目、研修会での単位申請、日整会ホームページの専門医検索などで確認。

2. 医局、出身大学など

診療所のホームページや過去の論文での所属などで検索、確認。

3. 医師会入会

地区医師会のホームページから確認。

未入会者数は以下の通りです。どうか、勧誘をお願いいたします。(資料12)

医局	OCOA 未入会	医師会入会	医師会未入会
大阪医薬大	3	2	1
大阪公立大	14	7	7
大阪大	11	6	5
関西医大	4	2	2
近畿大	2	1	1
その他	9	7	2
	43	25	18

## 8、令和4年度第2回医療システム委員会

6/29・WEB 宮崎理事

日時：令和4年6月29日（水）19：30～21：20

場所：WEB会議

出席者：16名

### 【理事会審議付帯事項】

医業類似行為に係わる健康被害等の全国1週間アンケート調査の実施について。

令和4年度JCOAシンポジウムの演題として報告するのでアンケート調査について承諾を頂きたい。

### 【協議・検討事項】

1. 令和4・5年度医療システム委員会理事長諮問事項

1) 代替医療・統合医療の研究、現状の把握と対策

- ・日本統合医療学会や厚労省の動きに注視し、情報収集をする。

- ・麻酔科のペインクリニックの医師は鍼灸に対し理解があるため、注意が必要である。エビデンスが無いものと一緒に医療を行うことはできない。
- 2) 厚生労働省の療養費検討専門委員会委員との連携
    - ・松本光司委員が委員会に出席し、厚労省の担当者、保険者、日医医師と連携をして療養費の適正化を図っていく。
  - 3) 医業類似行為有害事象・事例の収集と検討
    - ・医業類似行為関連行為に係わる健康被害等報告を収集し、検討する。
    - ・医業類似行為に係わる健康被害等の全国1週間アンケート調査
  - 4) 柔整師問題解決のための方針の検討
    - ・不正広告事例（看板、チラシ、WEB）を収集し検討する。
    - ・鍼灸柔整新聞を購読し、情報を収集する。
  - 5) あはきの受領委任払い導入後の影響の検討
    - ・現状では健保組合の8割が償還払いを選択している。今後も動向に注視していく。
  - 6) 柔整師の卒後研修制度の影響と問題点の整理
    - ・卒後研修制度に医療機関が組み入れられたということが問題である。
    - ・医療機関での研修の実態は把握できておらず、今後情報を収集して我々が何をすることができるかを考えていく。
  - 7) スクールトレーナー制度についての検討
    - ・JCOAは運動器健康・日本協会から脱退しているため、JOA広報渉外委員会での情報収集や、合同委員会で議題にしていく。
2. 令和4年度JCOAシンポジウムについて
    - 1) テーマは「接骨院における慢性疾患への施術」。
    - 2) 基調講演1は清水秀一氏に依頼し、承諾を得ている。  
内容は書籍「整骨院の横暴」からのものと思われる。
    - 3) 基調講演2は「保険者から見た施術の現状（仮）」というタイトルで松本委員から関係者に  
打診する。
    - 4) シンポジウムの演題は
      - ・柔道整復師の業務範囲について（三輪副委員長）
      - ・健康被害実態調査（宮崎副委員長）、
      - ・不正広告事例（前中アドバイザー）
      - ・医業類似行為に係わる健康被害等の全国1週間アンケート調査（川久保委員）
      - ・受領委任払い制度の影響（なぜ柔整にかかるのか）（小野アドバイザー）の5演題とする。

5) 開会挨拶は新井理事長、閉会挨拶は長谷川副理事長。

6) アンケートの実施は鬼川委員が担当。

7) 感染対策として総数は120名までとする。

案内する範囲は梅村議員を含めて検討する。

#### 4. WEB記事に対する対応について

会員からWEB女性自身の腰部脊柱狭窄症に足の土踏まずと足首にゴムバンドを巻いて「ゴムバンド整体」として記事になっていると情報提供あり。

今後、このような情報提供に対して医療システム委員会として応えるシステム作りが必要。

#### 【報告事項】

1. 令和4年度第1回医療システム委員会議事録(5/11)

2. 令和4年度第2回JCOA理事会議事録(5/29)

3. 第22回柔道整復療養費検討専門委員会(5/6)

##### 1) 明細書の義務化について

現行の通知では、「領収書は無償で交付」、「明細書は患者から求められた場合に交付」であるが、「明細書の義務化」は10月から実施される。施術ごとに毎回発行となるが、常勤の柔道整復師が3人以上という要件がついたので対象は限定的になる。明細書発行体制加算13円が新設される。

##### 2) 「柔道整復師の施術に係る療養費について」の一部改正について

施術の必要性を個々に確認する必要があると合理的に認められる患者について保険者又は後期高齢者医療広域連合が受領委任の取扱いを中止し、当該患者に対する施術を償還払いに変更できることとし、療養費の適正な支給を図るために改正し、6月1日から適用することとなった。

4. 第25回社会保障審議会医療保険部会あはき療養費検討専門委員会(5/6)

##### 1) あはき療養費の令和4年度料金改定(案)について

##### 2) あはき療養費の医師の同意書における変形徒手矯正術の同意の有効期限について

- ・ 変形徒手矯正術の医師の同意書の有効期限を1か月から3か月に延長できるようにすることについて延長に対しては適切ではない、反対であると表明している。
- ・ 理由は、変形徒手矯正術は本来医師が行うべきものであるが、変形徒手矯正術が関節拘縮や筋萎縮に有効であると考えて施術同意を行ったため、医師はその有効性を検証し、継続して施術同意を行うべきであり、少なくとも1か月に1度は患者を診察して判断するべきである。

5. 一般向け小冊子の送付状について差出人名を理事長名とし、個人的に地元の市区町村の医師会に公開することは問題ないと考えられる。余った分は都道府県医師会など

に郵送するのも良いと思われる。PDF版は小冊子を配布してから公開する。

## 9、JCOA 令和4年度第2回学術委員会 7/18・T.V.

堀口副会長

日 時：令和4年7月8日（金）20：00～22：00

場 所：テレビ会議

出席者：副理事長 長谷川利雄

担当理事 大山直樹、片山 元

委 員 中條 悟、石毛徳之、深谷泰士、堀口泰輔、辻本和雄、

遠藤健次、鶴上 浩

アドバイザー 吉村光生、原田 昭

理事会審議付帯事項：

なし

委員会決議事項：

### 1. 委員長、副委員長選出について

委員長は、委員の互選により鶴上浩委員が選任された。

副委員長は、鶴上委員長の指名により堀口泰輔委員が選任された。

報告事項：

### 1. 令和4・5年度の学術委員会理事長諮問事項について確認を行った。

今年度より下記の3項目が追加された。

- ・専門医制度に関する情報収集と対策
- ・学術集会演題応募時の倫理審査に関する検討
- ・学術集会発表賞（仮称）の選考方法の検討

### 2. 日本医学会への加盟申請書の確認を行った。

### 3. メーリングリストについて

JCOA 各種委員会メーリングリスト内規について確認を行った。

### 4. その他

次回委員会は9月25日（日）にテレビ会議で行う予定とした。

## 10、利益相反管理委員会 7/13・WEB 堀口副会長

日時：令和4年7月13日（月） 20：00～20：25

場所：ウェブ会議

出席者：副理事長、理事、委員 計6名

#### 審議事項

##### 1. 委員長、副委員長の選任について

（1）各種委員会規則により、委員長は委員の互選により堀口泰輔委員が選任された。

（2）副委員長は奥村康弘委員が本人承諾のうえ選任された。

##### 2. 令和4・5年度理事長諮問事項について

（1）JCOAの利益相反に関する指針・規則間の不整合の修正  
継続審議となった。

（2）インターネットを利用した利益相反自己申告方法の検討

令和4年度第1回理事会で審議され承認された「オフィス宅ふぁいる便」が今年度から利用されている。

その状況を見て検討することにした。

（3）組織COIに関する対応の検討

他の学会の動向を見ながら検討することになった。報告事項

##### 3. 委員会報告事項なし

## 11、令和4年度第3回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会 及び整形外科医政協議会執行委員会 8/7・東京 貴島理事

日時：令和4年8月7日（日）11：00～16：00

場所：ロイヤルパークホテル4F「瑠璃」

出席者：(25名)

特別出席者：(4名)

欠席者：(1名)

議題：

#### 【審議事項】

1. 令和4年度入会承認及び退会状況について（長谷川）



前回承認後の新入会員が承認された。(32名)

正会員数	5,604名
<u>名誉会員数</u>	<u>116名</u>
計	5,720名

2. 乳児股関節脱臼二次検診協力医名簿のウェブページ上での開示方法について  
(新井)

日本臨床整形外科学会の乳児股関節脱臼二次検診協力医名簿を日本小児整形外科学会のホームページに掲載されることが承認された。

3. 医業類似行為に係わる健康被害等の全国1週間アンケート調査の実施について  
(北村)

今年度の医療システム委員会主催のシンポジウムでの発表のために、JCOA会員の施設で、医業類似行為に係わる健康被害等の全国1週間アンケート調査が令和4年10月11日(火)～10月17日(月)の1週間実施されることが承認された。  
尚、Webでのアンケート回収を考慮することとなった。

4. 学術集会及び研修会における収益事業と消費税の取り扱いについて(木内)

令和5年10月からのインボイス制度の開始に伴い、学術集会及び研修会における収益事業と消費税の取り扱いについての見直しについて審議された。

内容として

- ① 学術集会及び研修会におけるすべての消費税の50%をJCOAへ送金する。
- ② 学術集会及び研修会に係る見積書、請求書及び領収書について、表記方法を変更する。
- ③ 消費税の課税業者として登録する。
- ④ 収益事業の範囲を拡大する。

上記内容が承認され、令和5年度からの学術集会及び研修会から適応されることとなった。

5. 役員選挙規則の変更について(二階堂)

6. 代議員及び補欠代議員選挙規則の変更について(二階堂)

政府の第5次男女共同参画基本計画に基づき、役員選挙規則、代議員及び補欠代議員選挙規則の規則に被推薦者の男女の割合がそれぞれ3割以上となるように努めるという条項を追加する事が承認された。(ただし、会員の女性の占める割合が1.72%である現状を考慮し、当面の間は努力義務にとどめる)

7. 災害医療チーム検討委員会委員の補充について(河村)

委員候補：関東 千葉 新保 純委員の補充が承認された。

8. JCOA ニュースと JCOA 会報の作成を依頼する印刷会社選定について（橘）  
JCOA ニュースと JCOA 会報の作成を担当している NH ファシリティーズの印刷部門撤退に際し
  1. JCOA ニュースについて  
早急に対応する必要があるため、中和印刷と第一印刷所の見積もり結果や実績等により発注し、その後のニュースは中和印刷と第一印刷所の 2 社の対応を見て決定する。
  2. 会報について  
次回の発刊は来年 3 月のため委託業者選定は継続協議となった。  
以上の内容が承認された。

#### 【各種報告事項】

1. 令和 4 年度各種会議等実施状況（奥村）
2. 日本医学会加盟申請について（大山）  
例年同様に 2022 年度日本医学会加盟申請を行ったことが報告された。
3. JCOA 生命共済制度の加入状況等について（橘）  
JCOA 生命共済制度の加入状況の説明があり、加入協力の依頼があった。
4. 高齢者の運動習慣アンケート調査結果報告（二階堂）  
令和 4 年 2 月 16 日～3 月 16 日（実日数 16 日間）に行われた高齢者の運動習慣アンケート調査結果の経過報告があった。回答数は 9,261 サンプルで現在解析中であり、10 月の JOA 基礎学術集会に発表予定。
5. 第 1 回 JCOADiT ブロック実務委員会報告（北海道・東北）（令和 4 年 6 月 2 日）（河村）
6. 災害時の情報に関するアンケート調査の実施及び結果報告（新井・河村）
7. 令和 4 年度第 1 回医業経営委員会の開催について（新井）  
令和 6 年度診療報酬改定、介護報酬改定に向けて、令和 4 年度第 1 回医業経営委員会を令和 4 年 9 月 25 日に開催する事が報告された。
8. 厚労省「地域における高齢者リハビリテーションの推進に関する調査検証事業」への委員の推薦について（新井）  
松原三郎副理事長に依頼、推薦された事が報告された。
9. 令和 4 年度版「学校保健の動向」原稿執筆者の推薦について（新井）  
山下仁司先生に依頼、推薦された事が報告された。
10. 関節可動域表示ならびに測定法の修正について（2022 年 4 月改訂）（新井）

11. 令和2・3年度日本医師会学校保健委員会答申について（新井）
12. 運動・スポーツ関連資源マップ構築に向けたアンケート調査報告書（スポーツ庁）について（新井）
13. 令和4・5年度各種委員会委員長について（新井）
14. 令和4・5年度JCOA役員名簿について（新井）
15. 登記について（新井）
16. 令和4年度運動療法機能訓練技能講習会の後援について（新井）  
例年同様に運動療法機能訓練技能講習会の後援を承諾したことが報告された。
17. 下肢創傷処置・管理のための講習会について（新井）  
令和4年度診療報酬改定で新設された下肢創傷処置管理料（月1回に限り500点）算定に必要な施設基準のための適切な研修の実施されることが報告された。
  1. 下肢創傷処置管理料（月1回に限り500点）  
施設基準：整形外科、形成外科、皮膚科、外科、心臓血管外科又は循環器内科の診療に従事した経験を5年以上有し、下肢創傷処置に関する適切な研修を終了している常勤の医師が1名以上勤務していること。
  2. 下肢創傷処置・管理のための講習会
    - (1) 主催：日本フットケア・足病医学会
    - (2) 開催形式：eラーニング形式
    - (3) 申込期間・受講期間：2022年7月29日（金）～2023年3月31日（金）
    - (4) 受講料：10,000円
    - (5) 受講資格：医師
    - (6) 日本フットケア・足病医学会認定資格をお持ちの場合は本講習会の受講必要なし

#### 【各委員会等報告事項】

1. 定款等検討委員会（令和4年4月11日、4月12日～15日、6月17日～23日）（二階堂）
2. 医療安全・倫理委員会（令和4年5月25日、7月27日）（大山）
3. 総務（広報・福祉・組織拡大）委員会（令和4年6月17日）（橘）
4. 産業医委員会（令和4年6月20日）（久賀）
5. 自賠・労災委員会（令和4年6月21日）（村井）
6. 国際交流委員会（令和4年6月21日～6月28日）（二階堂）
7. SLOC連携委員会（令和4年6月21日～6月28日）（二階堂）
8. 病院WG、JCOA病院部会役員会合同会議（令和4年6月24日）（貴島）
9. 運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会（令和4年6月27日）（橋口）
10. 学会雑誌編集委員会（令和4年6月27日）（鮫島）

11. 学校保健委員会（令和4年6月28日）（貴島）
12. 医療システム委員会（令和4年6月29日）（北村）
13. スポーツ委員会（令和4年7月3日）（河村）
14. 社会保険等検討委員会（令和4年7月6日、7月31日）（金淵）
15. 学術委員会（令和4年7月8日）（大山）
16. IT戦略委員会（令和4年7月11日）（鮫島）
17. 利益相反管理委員会（令和4年7月13日）（鮫島）
18. 災害医療チーム検討委員会（令和4年7月14日）（河村）
19. 「Q&A 交通事故診療ハンドブック」編集WG（令和4年7月24日）
20. 有床診WG（令和4年7月28日）（寺門）
21. 経理委員会（令和4年7月30日）（木内）



整形外科医政協議会執行委員会

出席者：(25名)

**【整形外科医政協議会報告事項】**

1. 第26回参議院議員通常選挙結果報告（新井）
2. 自見はなこ先生サポーター名簿提出状況（新井）
3. 整医協組織図について（新井）
4. 各県別加入状況（新井）
5. 執行部の動き（新井）

## 12、広報委員会

調子理事

### 大阪臨床整形外科医会会報49号 目次（案）

- ・巻頭言 藤本 啓治会長
  - ・なにわの先達
  - ・OCA 総会報告 第47回 一般社団法人大阪臨床整形外科医会定時総会 令和5年4月（土）
  - ・第35回日本臨床整形外科学会学術集会（徳島）7月17日～18日
  - ・第48回研修会報告（宮崎）10月8日～10日
  - ・OCA 研修会報告
- 第349回大阪臨床整形外科医会研修会（令和4年4月16日（土）共催：大正製薬株式会社

講演Ⅰ「最新の骨関節疾患治療の動向 -2022 update-」

大阪大学大学院医学研究科 運動器再生医学共同研究講座

講師 特任准教授 蛭名 耕介先生

講演Ⅱ「がんロコモについて - 転移性脊椎腫瘍の手術治療を中心に-」

近畿大学奈良病院 副病院長 整形外科・リウマチ科 教授 戸川 大輔 先生

第 350 回大阪臨床整形外科医会研修会 令和 4 年 5 月 14 日 (土) 共催：エーザイ株式会社

講演Ⅰ「関節リウマチの診療～総合診療科医の立場から (含：連携について)～」

大阪市立総合医療センター 総合診療科 診療部長 後藤 仁志先生

講演Ⅱ「小児運動器疾患に対する診断の基本とピットフォール」17:20～18:20

関西医科大学 整形外科学講座 診療講師 片岡 浩之先生

第 351 回大阪臨床整形外科医会研修会 令和 4 年 6 月 18 日 (土) 共催：小野薬品工業株式会社

講演Ⅰ「新しい関節リウマチ診療ガイドラインとアバタセプトの位置づけ」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体機能再生・再建学講座 整形外科 准教授 西田 圭一郎 (にしだ けいいちろう) 先生

講演Ⅱ「腰曲がりの保存治療の限界と手術治療の功罪」

大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学 整形外科学 講師 武中 章太先生

第 352 回大阪臨床整形外科医会研修会 令和 4 年 7 月 9 日 (土) 共催：ファイザー製薬株式会社

Ⅰ 講演(特)「変形性関節症における慢性疼痛とその治療」

島根大学医学部 整形外科学 教授 内尾 祐司先生

Ⅱ 講演(監)「股関節痛に対する治療～人工股関節全置換術の変遷～」

医療法人河端病院 整形外科 部長 末原 洋 (すえはら ひろし) 先生

第 353 回大阪臨床整形外科医会令和 4 年 8 月 20 日 (土) 共催 旭化成ファーマ株式会社

講演Ⅰ「外来でよく見かける足部足関節のスポーツ障害と慢性疾患」

奈良県立医科大学 整形外科 准教授 谷口 晃 (たにぐち あきら) 先生

講演Ⅱ「何から始める？いつまで続ける骨粗鬆症治療 -テリパラチド vs. BP 剤の大規模試験 ATOP-JOINT05 で見えてきたこと-」

東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 主任教授 斎藤 充 先生

第 354 回研修会 令和 4 年 9 月 17 日 (土) 共催 第一三共株式会社

講演Ⅰ『骨卒中予防の現状と課題 ～2次骨折予防の重要性～』

鳥取大学医学部保健学科 教授 萩野 浩先生

講演Ⅱ『神経障害性疼痛と腰椎椎間板ヘルニア診療ガイドライン2021』

大阪公立大学大学院医学研究科 総合医学教育学・整形外科学

准教授 豊田 宏光先生

第355回研修会令和4年10月22日(土): 帝人ヘルスケア

講演1:

講演2:

第356回研修会令和4年11月12日(土): 久光製薬

講演1:

講演2:

第357回研修会令和5年2月18日(土): 科研製薬

講演1:

講演2:

第358回研修会令和5年3月 日(土)

講演1:

講演2:

・単位申請状況

・OAOA 活動報告

ロコモ健康フォーラム 11月19日

大阪マラソン 令和5年2月26日

大阪城トライアスロン10月9日

4年度療法士会報告

運動器リハ・セラピスト資格継続研修会10月30日

ロコモコーディネーター資格継続研修会

・厚生部報告

・会員投稿

医学史探訪⑦今井 秀先生

・私の傑作

喜多義将先生

三橋允子様

・理事会議事録

・編集便り

### 1 3、第 63 回大阪整形外科症例検討会

山口理事

資料 1 2

### 1 4、令和 4 年度第 1 回学会雑誌編集委員会

6/27・WEB 山口理事

日時：令和 4 年 6 月 27 日（月）20:30～22:30

場所：ウェブ会議

出席者：副理事長 五味淵聡志

担当理事 鮫島弘武、橘 敬三

委員 大越康允、黒田利樹、今村恵一郎、池田和男

三秋謙太郎、立入久和、宮島茂夫、山口眞一、吉井一郎

欠席者：なし

1. 委員長選任 宮島茂夫先生

2. 副委員長指名（委員長） 立入久和先生

3. 委員長、副委員長の職務について

委員長は全体の把握、副委員長は査読の統括を担当

4. 理事長諮問事項について

学術集会終了後 1 年以内での確実な日臨整誌の発行

論文の質をどうするか再検討

日臨整誌投稿規定の検討と整備

査読委員会の運営

論文投稿、査読及び校正の業務平準化の検討

5. 投稿論文・査読のシステム導入及び業務委託について

(1) 投稿論文・査読のシステム導入の業者面談について

(2) 投稿論文・査読のシステム導入に伴う第 2 次見積もりについて

(3) 投稿論文・査読のシステム導入及び業務委託の検討について

6. 徳島学術集会論文投稿、シンポジウムの論文投稿について

### 1 5、令和 4 年度 OCOA 運動器リハ・セラピスト資格継続研修会

山本（善）理事

1) 開催計画進行状況

\*日時：令和 4 年 10 月 30 日（日） 12:00～16:30

\*場所：大阪府医師協同組合本部 8F 大ホール（昨年と同じ場所です）

\*講師および 演題

大阪公立大 明石健一先生 上肢の日常診療とリハビリテーション

大阪医薬大 山本善哉 ロコモティブシンドローム・ロコモフレイルとは

関西医大 大窪 博先生 下肢の機能と転倒予防のリハビリについて

阪大 史 賢林先生 脊椎のリハビリテーション

\*日本運動器科学会 資格継続単位 4 単位 認定済み

\*広報 OCOA 研修会案内に同封

9 月中旬発送予定の第 355 回研修会案内に同封予定

OCOА ホームページへの掲載 OCOA メール 済み

\*定員 90 名 コロナ感染の拡大状況は依然、予断を許す状況ではなく、ロコモコーディネーターの資格継続研修との同時開催は関係先生との相談の結果、今年は見送ることとした。

\*出務予定（敬称略、順不同）

委員長（山本）、藤本会長、担当副会長（堀口）、会計担当（中谷）、

明石 健一 榎本 誠 大成 浩征 荻野 晃

清水 広太 吉村 弘治

\*参加受付は 8/29 より Web にて開始しています。OCOА ホームページから申し込み可能。

\*今回から参加受付の方法を変えています。

郵送代申し込み方法の変更

従来

メールにて仮申し込み→受付後、申し込み書類をこちらから郵送→参加者が記入して、受講票となる返信用はがきと入金確認書類をこちらへ郵送。→こちらから領収証及び受講票を再度郵送

今回から

定期研修会と同様、Web（GoogleForm）にて受付→メールにて参加費と振込先を通知→入金確認後、受講票と領収書を PDF ファイルとしてメールにて送信、参加者に印刷してもらい、受講票は当日持参。

これにより、こちらからの郵送代を削減（約 1 万円前後か）。参加者も申し込みの手間が軽減、返送はがきを準備する手間とコストが省ける。

GoogleForm の入力に不慣れな施設には、FAX による受付、案内も準備する。

**16、第 59 回大阪臨床整形外科医会療法士会 勉強会 白木副会長**



## 17、OCOA 費用弁償規則

中谷副会長

・出務費・立替金の時効について

出務費および立替金が発生した月日より次年度の1月31日までを請求可能な期限とする。  
出務費および立替金が発生した月日より次年度の2月1日以降の請求については原則時効とし一般社団法人大阪臨床整形外科医会は支払義務を負わないとする。

## 18、ロコモ健康フォーラムの進捗状況

木下副会長

出務して頂く先生の最終確認

## 19、研修会報告

堀口副会長

第351回大阪臨床整形外科医会研修会（令和4年6月18日 ハイブリッド開催 現地会場：リーガロイヤルホテル 50名）共催 小野薬品工業 16:00～ 参加者数 157名（会員 94名 非会員 63名、会場 47名 WEB 113名）

講演Ⅰ：「新しい関節リウマチ診療ガイドラインとアバタセプトの位置づけ」座長：梁 裕昭 先生

演者：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体機能再生・再建学講座 整形外科 西田 圭一郎（にしだ けいいちろう） 先生

N1（整形外科基礎科学）、6（リウマチ性疾患、感染症）、R（リウマチ医）  
日医 9（医療情報）、61（関節痛）

講演Ⅱ：「腰曲がりの保存治療の限界と手術治療の功罪」座長：荻野 晃 先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学 整形外科学 講師 武中 章太（たけなか しょうた） 先生

N7（脊椎・脊髄疾患）、13（リハビリテーション（理学療法・義肢装具を含む））、SS（脊椎脊髄病医）  
4（医師—患者関係コミュニケーション）、60（腰痛）

日本リウマチ学会：2単位（講演Ⅰ、Ⅱ 各々1単位）

日本リウマチ財団：2単位（講演Ⅰ、Ⅱまとめて）

日本リハビリテーション医学会：リハビリテーション科専門医 1 単位、認定臨床医 10 単位  
(講演Ⅱ)

第 352 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 4 年 7 月 9 日 ハイブリッド開催 現地会場  
ANA クラウンプラザホテル大阪 100 名) 共催 ファイザー製薬 17:00～ 参加者数  
109 名 (会員 86 名 非会員 23 名、会場 44 名 WEB 65 名)

講演Ⅰ：「変形性関節症における慢性疼痛とその治療」座長：森下 忍 先生  
演者：島根大学医学部整形外科学教授 内尾 祐司 (うちお ゆうじ) 先生  
日整会 N1 (整形外科基礎科学)、12 (膝・足関節・足疾患)、R (リウマチ医)  
日医 61 (関節痛)、73 (慢性疾患・複合疾患の管理)

講演Ⅱ：「股関節痛に対する治療～人工股関節全置換術の変遷～」座長：森下 忍 先生  
演者：医療法人河端病院 整形外科 部長 末原 洋 (すえはら ひろし) 先生  
日整会 N6 (リウマチ性疾患、感染症)、11 (骨盤・股関節疾患)、R (リウマチ医)  
日医 9 (医療情報)、62 (歩行障害)

日本リウマチ学会：2 単位 (講演Ⅰ、Ⅱ 各々 1 単位)

日本リウマチ財団：2 単位 (講演Ⅰ、Ⅱまとめて)

第 353 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 4 年 8 月 20 日 ハイブリッド開催 現地会場  
ANA クラウンプラザホテル大阪 100 名) 共催 旭化成ファーマ 16:00～ 参加者数  
180 名 (会員 122 名 非会員 58 名、会場 88 名 (会員 69 名、非会員 19 名 事前申込  
無し 会員 7 名 非会員 14 名) WEB 92 名)

講演Ⅰ：「外来でよく見かける足部足関節のスポーツ障害と慢性疾患」座長：宮田 重樹 先生  
演者：奈良県立医科大学整形外科教室 准教授 谷口 晃 (たにぐち あきら) 先生  
日整会 N2 (外傷性疾患 (スポーツ障害を含む))、12 (膝・足関節・足疾患)、S (スポーツ  
医) 申請中  
日医 61 (関節痛)、73 (慢性疾患・複合疾患の管理) 申請中

講演Ⅱ：「何から始める？いつまで続ける骨粗鬆症治療 ーテリパラチド vs. BP 剤の大規模試験 ATOP-JOINT05 で見えてきたことー」座長：大成 浩征 先生  
演者：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 主任教授 斎藤 充 (さいとう みつる) 先生

日整会 N1 (整形外科基礎科学)、4 (代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む)、SS (脊椎脊髄病医)  
日医 9 (医療情報)、77 (骨粗鬆症)

日本リウマチ学会 1 単位 (講演Ⅱ)  
日本リウマチ財団 1 単位 (講演Ⅱ)  
日本骨粗鬆症学会 4→5 単位 (講演Ⅱ)

20、その他

藤本会長